

企業を伸ばす 地域を活かす2 〈港区編〉

⑫

経営力強化に役立つ公的制度も紹介し、 中小企業の成長を支援

私が担当している東京都港区は、東京都23区内で最も企業数が多い地域で、同区に本社を置く企業の約半数がサービス業。小売・卸売業がそれに次いで多く、最近では情報通信業が最も増えています。

港区における当社の投資先企業の特徴は、自社ブランドを展開し、自社のコア技術をうまく活用して新分野に打って出ている企業が多いこと。たとえばフィルター技術を応用し、航空宇宙から製鉄、製薬、トンネル工事に加え、土壌汚染浄化や排水・廃液処理分野まで幅広く、世界で「環境ソリューション・エンジニアリング」を展開している流機エンジニアリング(港区三田)がその典型です。

最近では、親族内に後継者がいないため、役員・従業員などに経営承継を行う「親族外承継」のご相談を受けることがよくあります。成長のために他社を買収するM&Aの相談も多く、「良い企業があれば紹介してほしい」という依頼が多いです。

また、国の「中小企業等経営強化法(経営力向上計画)」に基づく「中小企業経営強化税制」を紹介し、お役に立ったケースもあります。この制度では、中小企業が新たに取得する設備等について、一定の要件を満たせば、取得価格までの特別償却(即時償却)か税額控除の利用が可能になります。このように、中小企業の経営に役立つにもかかわらず、

あまり知られていない公的な制度を積極的にご紹介していきたいと思っております。

私は昨年4月に日本政策金融公庫(以下、日本公庫)から出向し、現在の部署に配属されました。日本公庫では融資案件を多数扱ってきましたが、東京中小企業投資育成の主な役割は、長期安定株主としての中小企業への出資です。その意味で、中小企業が出資を受け入れ自己資本を強化することで、どんなメリットが生じるのかを、目に見える形でどう提案していくかを考えることに、面白さを感じています。日本公庫と投資育成の良いところを活かし、シナジーを発揮するための「懸け橋」になることが私の目標です。



東京中小企業投資育成 業務第1部
部長代理

北澤知之さん(32歳)

1985年5月東京都生まれ
2008年3月埼玉大学経済学部卒業
2008年4月中小企業金融公庫(現・日本政策金融公庫)入社
2017年4月東京中小企業投資育成に出向
業務第1部(東京都港区担当)に
配属され、現在に至る